

マスターコンセプト

- 夫婦の距離のよい家
- 介護より快護の家
- 建築家至高の家

Profile of

ヘルスプロモーションデザイン

～あなたらしい空間・あなたらしい時間～

Narrative Design Architecture



<家族の思い出空間がある>

上の写真をご覧ください。秋晴れの並木道、一見、何の変哲もないただの風景写真ですが、この写真を撮った方にとっては特別なシーンであったのです。この写真は病室から撮られたもので、撮影者は前日、手術室から無事手術を終え、病室に戻ってきたのです。その時、目の前に広がった秋晴れの空は60年以上生きてきた中で見た秋晴れの中でも特別なものであったに違いありません。

この写真が教えてくれていることは、「あたりまえのありがたさ」です。そんなあたりまえのありがたさこそ、人生の根源=Principle of Life (POL) であると考えています。皆さんのお宅にもある、あたりまえのありがたさを今一度、考えてみてください。そして、網入りではないガラスで、室内にしかいることができない人の視界について考えてみてください。



POL=HPD+QOL

▶ Principle of Life (POL)

あなたがあなたらしく生きるための「あなたの中にある人生の根源」となる考えです。人の根底に流れる、Principle of Life (POL) = 「あなたの中にある人生の根源」の考えによってあなたの生活の質は決まると考えています。

▶ ヘルスプロモーションデザイン (HPD)

人が生活する基盤となる、住まい空間。子供から大人、年を取ったその日まで過ごす住まい空間は、十人十色と言うように一つとして同じものはありません。しかし、その中で人の普遍的な関心事は、「健康」です。住まいが「健康」であること、そして、その住まいの中で、あなたが、あなたらしい空間・あなたらしい時間(=POL)を感じられることで、あなただけの「健康住宅」の創設を目指します。



Principle of Life

シリーズ五感の家



ヘルスプロモーションデザイン

～あなたらしい空間・あなたらしい時間～

ヘルスプロモーションデザイン

人が生活する基盤となる、住まい空間。

子供から大人、年を取ったその日まで過ごす住まい空間は、十人十色と言うように一つとして同じものはありません。しかし、その中で人の普遍的な関心事は、「健康」です。住まいが「健康」であること、そして、その住まいの中で、あなたが、あなたらしい空間・あなたらしい時間(=POL)を感じられることで、あなただけの「健康住宅」の創設を目指します。

Principle of Life (POL)

あなたがあなたらしく生きるための「あなたの中にある人生の根源」となる考えです。

人の根底に流れる、Principle of Life (POL) = 「あなたの中にある人生の根源」の考えによってあなたの生活の質は決まると考えています。

ヘルスプロモーションデザインハウスの実現



代表取締役 四十万 靖

人間の幸せとは何でしょうか？その人の五感が満足されるということであるのが私たちの考えです。朝、太陽の光が優しくあなたの眼を刺激します。小鳥のさえずりが続きます。ベッドから起き上がって、窓を開けると、朝一番の新鮮な風があなたの頬に触れます。木々の緑が嗅覚を刺激し、それにつられて、新鮮な空気を思いっきり吸い込んで味覚が満たされる、まさに、五感が満たされる瞬間です。これこそ、日本人が長い年月をかけて培ってきた住まい方です。

ヘルスプロモーションデザインハウスとは、人生のライフステージを超えて五感を満足させ、POLに基づいた「あなたらしい空間・あなたらしい時間」のある住まいを目指し、医療・建築の領域の専門家を交え、創る住まいのことです。



海老原 良典

医学博士
財団法人松翁会診療所
慶應義塾大学医学部老年内科非常勤講師
WHO(世界保健機構)高齢者QOL作成委員会

意外に思われるかもしれませんが、高齢者にとって家の中というのは非常に医療事故の発生しやすい場所なのです。転倒による骨折や脳卒中、心筋梗塞をはじめ突然死の多くは温度差の激しくなる入浴時やトイレなど自宅で起きています。さらには死に至らないまでも、冬寒い時期の窓の結露によってできるカビも身体に悪影響を及ぼす可能性があります。家というのは心が安まるという心理的満足以外にも、機能的かつ医学的にも安全性の高いものが要求されるものであると考えます。HPDを通してこのようなことを具象化していくことができればよいと考えています。



堀越 英嗣

建築家、芝浦工業大学教授

私達は「家」のことを「すまい」と呼びますが何が違うのでしょうか。英語で言うところの house と home の違いに近いかもしれません。私達は物理的に守ってくれる house = 家と、心のつながりの共同体と示す home。このどちらかが私たちの日々の暮らしを支えています。健康な身体と精神のバランスを保つ場所、それが「五感の家」と考えています。近年、家はリビング、ダイニング、寝室等機能によって部屋が分離され、プライバシー重視に傾いた生活スタイルとなっていますが、一緒にいる一体感を感じる豊かさもとても大切です。家族同士がさりげなく見られること、音で気配を感じられる、花や緑、料理の香りを感じられるなど、五感で心のつながりを感じる家、人々が無理せず自然体で住める現代版民家のような「普通の住まい=五感の家」がもっと普及する事が必要であると考えています。

第1弾：ヘルスプロモーションデザインハウスでの商品展開

第1弾のモデルハウスでは、POLに基づいた「あなたらしい空間・あなたらしい時間」をテーマに、医療・建築領域の専門家と一緒に、下記商品を開発。これら商品は、実験棟兼モデルハウスに標準装備しております。

今後、大学との共同研究を行い、継続した商品開発と実証実験を行います。

また、伝統的な日本家屋の空間である、和室にもこだわり、「あなたらしい空間・あなたらしい時間」の中に日本人らしさを感じさせる空間を演出しています。



「WIO・スペーシア」

断熱性に優れたガラス・サッシを使用することで結露とカビ発生を抑制し、ガラス施工に使用するゴムにも特殊コーティングをすることで、カビの発生を抑制します。耐火地区にも可能な「網なし」ガラスを採用することで、外の景色をそのまま映すことができ、五感の一つである視覚を刺激します。「WIO・スペーシア」の窓と床暖と組み合わせることで、よりコールドドラフトを抑え、冷えを抑えられると考えています。

【参考値】

●転倒衝撃値：66.4G
●室内温度が20℃、室内湿度が60%の場合、-35℃まで結露の発生を抑えられる。



「HPD・フロア」

防臭性もある自然素材の竹を使っています。すべりにくく、万一転倒しても衝撃力を和らげる転倒衝撃吸収を兼ね備えています。踏面には、滑り止めのゴムと夜間光る蓄光を入れ、踏み外しが少ないよう設計しています。また、床下からのカビの発生を防ぐため、フロアの施工時、特殊なコーティング剤を塗布し、足元からの安全を考えたフロアを目指しています。

【参考値】

●転倒衝撃値：66.4G

●室内温度が20℃、室内湿度が60%の場合、-35℃まで結露の発生を抑えられる。
(60G以下では脳震盪を起こしにくい)
※JIS A6519 K 竹フローリングとフレクスターを重ね合わせて測定 (固定無し)



「HPD・バルコニー」

緑(みどり)は、人に安らぎと癒しを与えます。都会の中のベランダに、あなただけの小さな庭を作り、植物との触れ合いを楽しめます。また、ガラスは本来の色を映し出すガラスを使用し、昼間の緑の美しさとLED照明による夜間のデザインの美しさを引き立てます。

「HPD・カーテン」

断熱性、抗菌性を兼ね備えた生地を使用しています。かといって、暗くならず直射日光を優しく拡散させてくれるため、柔らかな光を演出することができます。









- 施主は50代夫婦、20代の息子2名、娘1名、80代義母と叔母、3世代同居
- 将来、こどもたちが独立する事を見込んで、こども部屋3室は賃貸にリフォーム出来るように設計、電気・水道・ガス配管工事済み。同時にこども夫婦、孫との4世代共同生活可能な多世代都市型循環対応賃貸併用住宅を基本コンセプトとして採用
- 目黒線・大井町線・池上線・都営浅草線最寄り駅から徒歩6～15分
- コスト感覚の優れた建築家による設計のおかげで、賃貸1部屋を3階に追加。1階の3室と併せて合計4室。月当たり賃料が7万円アップ、返済とのCFも改善。
※施工はローコスト企画専門会社。建築家主導によるコスト最適化が可能となった。
- 将来、孫が訪れて来た時に、“おじいちゃん・おばあちゃんのおうちはベランダが光っているおうち！”と自慢出来る、昼と夜、2つの顔をもつおうち。
- 医学博士海老原良典先生のアドバイスによる、万病のもととなる、ダニ・カビ根絶100%結露防止高機能窓ガラス採用、また、白内障になった時に見易い色調のフローリング、照明の採用、エビデンスに基づいた医者を知見と、建築家堀越英嗣先生のDesign Skillのコラボレーションによる最先端都市型多世代循環対応賃貸併用住宅
- 延床面積100坪、設計+建築・設備工事費用8,000万円